

8 月 21 日 年間第 21 主日

狭い戸口

ルカによる福音書 13 章 22～30 節

²² イエスは町や村を巡って教えながら、エルサレムへ向かって進んでおられた。²³ すると、「主よ、救われる者は少ないのでしょうか」と言う人がいた。イエスは一同に言われた。²⁴ 「狭い戸口から入るよう努めなさい。言っておくが、入ろうとしても入れない人が多いのだ。²⁵ 家の主人が立ち上がって、戸を閉めてしまってからでは、あなたがたが外に立って戸をたたき、『御主人様、開けてください』と言っても、『お前たちがどこの者か知らない』という答えが返ってくるだけである。²⁶ そのとき、あなたがたは、『御一緒に食べたり飲んだりしましたし、また、わたしたちの広場でお教えを受けたのです』と言いだすだろう。²⁷ しかし主人は、『お前たちがどこの者か知らない。不義を行う者ども、皆わたしから立ち去れ』と言うだろう。²⁸ あなたがたは、アブラハム、イサク、ヤコブやすべての預言者たちが神の国に入っているのに、自分は外に投げ出されることになり、そこで泣きわめいて歯ぎしりする。²⁹ そして人々は、東から西から、また南から北から来て、神の国で宴会の席に着く。³⁰ そこでは、後の人で先になる者があり、先の人で後になる者もある。」

他の朗読：イザヤ 66：18～21 詩編 117 編 ヘブライ 12：5～7, 11～13

Lectio …読む

キリスト者として生きることは、信じる者に多くのことを要求します。今日イエスは、誰が神の国に入ることを許され、誰が許されないかについて話しています。彼は当時も今も彼の話を聞いている人に、ただ単に彼の教えを聞く以上のことを要求しています。

悲しいことですが、もしあなたが毎日の生活の中で、積極的にイエスからの影響を受けようとしていないならば、あなたは本当の意味でキリスト者として生きていないのです。キリスト者として生きることは、教会に行くことだけではありません。キリスト者として生きることは、イエスを通しての神との個人的な関係において行うすべてのことに関連しているのです。

ある人々にとって、イエスの教えを聞くことは知的な行いに過ぎなくなってしまいました。彼らは 23 節のように理論的な質問をし、そして救われるのが当たり前だと考え、イエスを単に一人の先生として扱いました。

イエスは彼らに、神の国に入る機会を失うという重大な危険に直面していることを警告します。イエスはそれを非常に小さな入り口しかない家にたとえます。人々は中に入ろうと苦労していますが、家の主人は戸を閉めて、ある人々しか入れないのです。

イエスは自分の言っていることの意味を非常に明確にしています。イエスを信じ、生活のあらゆる側面で信仰を実行していくことによって、神への信仰に個人的に入って行かなくてはならないのです。

イエスは私たちに、信仰の問題では座して待ってはいはならないことを思い出させてくれます。もしあなたがイエスに属しているなら、イエスの教えはあなたの生活に間違いなく影響を与えるでしょう。あなたは間違いを犯すかも知れませんが、イエスに従って自分の生活を生きるために努力もするでしょう。悔い改めず、この道を選ばない人は全てを失う危険性があります。なぜなら「家の主人」があなたを知らないと言い、中に入れてくれない日が来るかもしれないのです。

Meditatio …黙想する

狭い戸口は、個々人が悔い改め、イエスを通して神への個人的な信仰の忠誠を行うときを意味しま

す。それには個人の選択が求められ、誰か他の人があなたのためにできることではありません。あなたはイエスに従うという選択をした時のことを思い出すことができますか。ある人々にとっては、何年もかかったかも知れません。またある人々にとっては、意思決定した特別な日があったかも知れません。もし確かでないならば、司祭や奉仕者とそれについて話してみたらどうでしょうか。

Oratio …祈る

「恐れおののきつつ自分の救いを達成するように努めなさい。あなたがたの内に働いて、御心のままに望ませ、行わせておられるのは神であるからです。」(フィリピの信徒への手紙 2 章 12、13 節)

これらの節の中で使徒パウロは、フィリピの信徒たちに自己満足することなく信仰の生活を続けるように忠告しています。あなたの人生における神の目的に、あなたが喜んで従うことができるよう聖霊に願いましょう。

Contemplatio …観想する

フィリピの信徒への手紙 2 章 12、13 節は、神は私たち一人一人の中で働いていることを思い出させてくれます。今あなたの生活の中で神がどのように働いているかを考えてみましょう。神はあなたを驚かせるようなことを見せて下さるかも知れません。